

## 防災メモ

### 火山観測施設（1：吾妻山）

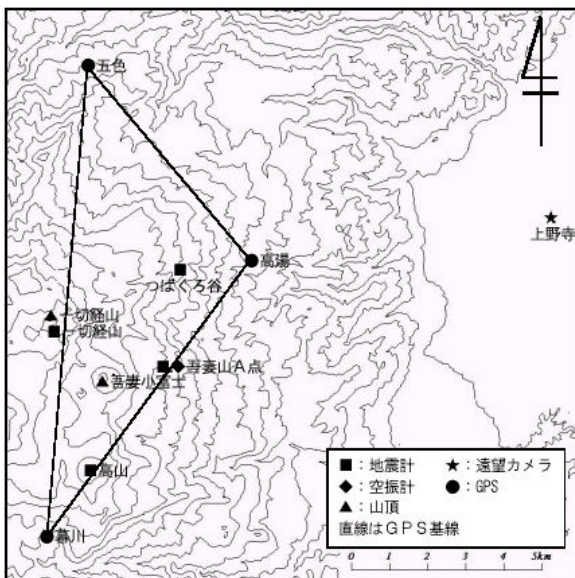
仙台火山監視・情報センター（以下、火山センター）では、地震計による震動観測、GPS による地殻変動観測、遠望カメラによる遠望観測及び空振計を用いて、吾妻山の火山活動の常時観測・監視を行っています。

気象庁では 1965 年 7 月に一切経山の北東約 6 km に地震計を設置し、震動観測を開始しました。この観測点（A 点）は観測施設の更新に伴い、1998 年 11 月に現在位置（一切経山の東約 3 km）に移設され観測を継続しています。また、2001 年に入り地震活動がやや活発化したため、一切経山、つばくる谷、高山に臨時に地震計を 3 カ所増設し、観測・監視を強化しています。これらの地震計によるデータは火山センターに全てテレメータされ観測・監視が行われています。

GPS による地殻変動観測は最も新しい観測方法で、火山体の膨張や収縮など広範囲な地殻の変化を観測するために五色、高湯、幕川の 3 観測点を設置し、2001 年 11 月から火山センターで観測を行っています。

遠望観測は、1965 年 7 月、福島地方気象台から目視により噴気や噴煙の観測が始められました。その後 1998 年 11 月に、現在位置（福島市内）に遠望カメラを設置して観測を継続しており、現在は火山センターで観測を行っています。

また、1998 年 11 月に A 点に空振計を設置し、観測を開始しました。空振計は悪天時や夜間における噴火現象の確認などに利用されます。



吾妻山火山観測点配置図



吾妻山遠望カメラ（右）と地震データ受信アンテナ（左）



吾妻山 A 点の地震計センサー



高湯五色観測局の GPS 施設